

介護者は息子の妻が減りホームヘルパーが増えた

子ども夫婦と暮らす三世代家族が激減し、**高齢者夫婦だけの世帯や独居世帯が高齢者世帯の半数を超える**なかで、介護をする人に大きな変化が進んでいます。高齢者夫婦では介護で頼りになるのは配偶者ということで**老老介護**が増え、実際に妻と夫が介護者になる割合は2対1くらいになっています。頼みたい相手としては、**男性は80%と圧倒的に妻を頼りにし、女性で夫を頼るのは35%と少なくなります。**

主たる介護者で、通念とされてきた**息子の妻が激減**しているのは特徴的ですが、介護を頼みたい相手としても「**息子の妻**」と答える人はそれ以上に少なく**男性で9%、女性で16%にすぎません。**息子や娘といった**実子に頼みたいという人は女性で63%、男性で49%**と沢山おり、そんななかで近年家族の介護のために離職・転職する人が増えています。他方、子どもに頼れない或いは負担をかけたくないということで、**ホームヘルパーに頼みたいという人が女性では45%と約半数、男性で28%と多くなっています。**介護にかかわる家族の関係が激変していますが、いずれにしろ介護は**多くの人が連携することで負担を軽くすることができます。**

